

今年度の防災SP養成企画検討会の進め方(案)

資料1-1

開催予定		第1回		第2回		第3回		第4回		第5回		
項目	目標	6月19日(金) 15時～17時		8月5日(水) 15時～17時		11月11日(水) 10時～12時		12月22日(火) 10時～12時		3月18日(木) 15時～17時		
有明の丘研修		WG①		WG②		WG③						
地域研修		募集		選定・結果通知		実施日程・カリキュラム		第1期 9/2～10/23		第2期 1/13～3/2		
Eラーニングの開発・試行		コンテンツ等開発・試行環境構築		地域研修 7月上旬～1月下旬ノ研修効果、改善に係る調査		試行				次年度の準備		
議題 (案)	1 研修体系の見直し	防災SP研修の充実	○有明の丘研修(第1期)の実施方法等		◎受講者拡大の対応方策(案) ・コース構成の見直し ・新規コース設定 他		○有明の丘研修(第2期)の検討状況		◎令和3年度の研修計画(案)			
		効果的な研修への展開	◎有明の丘研修の在り方について									
	2 研修指導要領及び標準テキスト等の整備	内容の充実	◎研修指導要領等の見直し ・令和2年度版「研修指導要領」(案)		◎研修指導要領等の見直し ・令和2年度版「研修指導要領」(案)		◎標準テキストの見直し ◎地域研修プログラムの検討		◎標準テキストの見直し ◎地域研修プログラムの検討		◎令和3年度版「研修指導要領」等の改訂に向けた課題	
	3 防災SP Eラーニングの試行・実施	防災SP Eラーニングの試行(2コース)	◎Eラーニングの試行に向けた検討 ・システム要件 ・基本仕様 ・2コース(避難所運営と罹災証明発行)のコンテンツ(素案)		◎Eラーニングの試行に向けた検討 ・2コースの試行動画シナリオ(案) ・受講状況の把握・管理の範囲		(Eラーニング試行)		◎Eラーニング試行を踏まえた改善		◎令和3年度Eラーニング整備計画(案)	
	4 能力評価(個人/組織)の仕組みの検討	事前学習、集合研修の修了者の能力評価手法確立					◎研修による能力評価の方法 ・テストバッテリーの見直し ・事前学習及び集合研修修了者の受講証明(能力評価) ・アメリカFEMAの事例		◎研修による能力評価の方法(継続検討)			
5 人的ネットワークの活性化	今後の活性化の仕組みの確立	○メルマガ発行(継続的情報提供)						◎フォローアップ研修(案)		◎令和3年度の人的ネットワーク活性化計画		
報告	0 研修の効果検証	研修の効果測定	○昨年度防災SP研修の検証報告				○研修の実施状況に関する報告		○防災SP Eラーニング実施報告		○研修の実施状況に関する報告	



## チーム有明メールマガジン初回配信文

=====  
チーム有明メールマガジン vol.01 【2020/05/15】  
=====

本メールは、有明の丘研修コース修了者の皆様へ、内閣府(防災)から防災政策の最新動向をお送りするメールマガジンです。2～3か月に1回の頻度で、皆様に防災関連の最新トピックスを御提供いたします。

---

## 1、「チーム有明メールマガジン」の発刊にあたって

### ◆青柳一郎 内閣府政策統括官（防災担当）のメッセージ

有明の丘研修コース修了者のみなさま、お元気でしょうか。このたび、修了者のみなさまと防災に関する情報共有を図るため、メールマガジンを始めました。まずは内閣府防災からの情報提供を中心にスタートしますが、みなさまからの意見を踏まえて改善していければと思いますので、ご要望は問い合わせ先のメールアドレスまでお寄せいただければ幸いです。修了者のみなさまとの連携が強まり、我々とみなさまともに防災対応力が向上することを祈っております。

---

## 2、内閣府防災担当からのお知らせ

### ◆内閣府（防災担当）からの新着情報

・新型コロナウイルス感染症の感染が全国的に拡大しているなか、災害が発生し避難所を開設する必要がある場合の避難所における感染症対策のための留意点について、4月1日、7日に内閣府・消防庁・厚生労働省より通知を公表しております。また、災害時の避難所としてホテル、旅館等の活用に向けての準備に関する通知を、4月28日に内閣府・消防庁・厚生労働省・観光庁より公表しております。

<http://www.bousai.go.jp/pdf/korona.pdf> （4月1日）

[http://www.bousai.go.jp/pdf/hinan\\_korona.pdf](http://www.bousai.go.jp/pdf/hinan_korona.pdf) （4月7日）

[http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/corona\\_hotel\\_0429.pdf](http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/corona_hotel_0429.pdf) （4月28日）

・令和2年度出水期までに、「自らの命は自らが守る」意識を一人一人に醸成させるべく、国民に対し避難に関する理解の普及啓発を行うための「避難の理解力向上キャンペーン」の実施について、4月21日に内閣府・消防庁より通知を公表しております。

[http://www.bousai.go.jp/pdf/hinan\\_campaign.pdf](http://www.bousai.go.jp/pdf/hinan_campaign.pdf)

・災害時に応援職員等を迅速、的確に受け入れて情報共有や各種調整等を行うための受援体制について内容を理解し、なるべく負担を少なく「受援計画」を作成できるよう、「市町村のための人的応援の受入れに関する受援計画作成の手引き」を4月に策定しております。

<http://www.bousai.go.jp/taisaku/chihogyomukeizoku/index.html>

・外国人観光客及び在住外国人が増加しているなかで、防災・気象情報の多言語化は喫緊の課題です。内閣府（防災担当）では、災害時に便利な多言語のアプリやWEBサイトに関する周知・普及を促進するため、多言語でリーフレットを作成しました。

<http://www.bousai.go.jp/pdf/PressReleaseHelpfulDisasterManagementApps.pdf>

・東北、関東甲信越を中心に広域かつ甚大な被害をもたらした 令和元年台風第 19 号等を教訓とし、激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、避難対策の強化を検討するため、防災対策実行会議の下に設置したワーキンググループの報告書について、3月31日に公表しております。

<http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/index.html>

・大規模噴火時の広域降灰対策を行う際の前提となる、降灰分布と交通機関やライフライン等への影響、大規模噴火時の広域降灰対策の基本的な考え方についての検討をするため、防災対策実行会議の下に設置したワーキンググループの報告書について、4月7日に公表しております。

<http://www.bousai.go.jp/kazan/kouikikouhaiworking/index.html>

・2月12日に、第8回国と地方・民間の「災害情報ハブ」推進チームを開催しました。令和元年度の ISUT（Information Support Team）の活動報告などのほか、令和元年東日本台風で被災した長野県から ISUT の活用等に係る報告をいただきました。

<http://www.bousai.go.jp/kaigirep/saigaijyouhouhub/dai8kai/index.html>

---

### 3、研修コーディネーターからのニュース

◆「指揮統制」「対策立案」コースコーディネーター 林 春男 先生（防災科学技術研究所理事長）より

BSチャンネルにて放送大学の講義を下記の日程で放送しております。皆様、ぜひご視聴ください。

科 目 名：コミュニティがつなぐ安全・安心（'20）

放送チャンネル：BS キャンパス on（232ch）

放 送 時 間：2020年度 [第一四半期]（金曜）21：00～21：45

主 任 講 師：林 春男

〈放送大学（教養学部）授業科目一覧〉

<https://www.ouj.ac.jp/hp/kamoku/2020/kyouyou/B/seikatu/index.html>

---

### 4、OJT 研修員便り

※OJT 研修とは、自治体職員等を対象として、内閣府（防災担当）において防災業務に従事しながら研修も併せて受講するタイプの研修であり、1年コース、3か月コースがあります。

◆内閣府防災 被災者生活再建担当 H31.4.1～

佐藤 稔希さん（新潟県三条市・1年コース）

平時においては、住家の被害認定業務に関する指針等の改定や、都道府県からの依頼に応じて、地方公共団体向け説明会の講師等が主な業務ですが、発災時には、PUSH型支援として、被災市町村向け説明会を現地で実施するとともに、必要に応じて現地に滞在し、技術的な助言を行っています。住家の被害認定業務は、災害対策基本法上、市町村長の義務として位置付けられており、近年の多様化する災害の中、国民の関心も非常に高くなっている業務です。こうした経験は、OJT研修でしかできない貴重なものであり、私にとって今後の強みになると考えています。派遣元では、内閣府防災で得たものを惜しみなく還元してまいります。

◆内閣府防災 地方・訓練担当 H30.4.1～

木藤 陽介さん（中部電力(株)・1年コース）

平成30年度よりOJT研修員として内閣府が主催する訓練の企画・運營業務に従事しております。訓練の企画段階で、政府の災害対応に関する各種計画や各省庁の対応を学ぶことができると共に、調整相手となる各省庁の担当者と関係を深めることもでき、日々、貴重な経験をさせて頂いております。派遣元に戻った際には、ライフライン企業としての責務を全うできるよう自分の得た知識・経験・関係を生かし、災害対応力向上に貢献していきたいと考えております。

◆内閣府防災 普及啓発・連携担当 R02.4.1～

山元 淳さん（大阪府大東市・1年コース）

私はこれまで大東市の危機管理室で勤務しており、災害対応はもちろん自治会、地元企業や関係団体との繋がりを通して防災業務に取り組んでまいりました。内閣府では、特に国民運動としての防災意識や知識の向上への取り組み、多様な組織や団体とのネットワークやリソースを活かして、いかに減災につなげられるかを大局的に学ばせていただいております。現場感覚を忘れず、今後の業務に活かせるよう努力するとともに、この貴重な経験と人脈を持ち帰り、さらなる大東市の防災減災に活かしてまいります。

◆内閣府防災 地方・訓練担当 R02.4.1～

長岡 秀則さん（東京都福生市・3か月コース）

地方・訓練室の研修担当では、OJT研修員として内閣府防災に在籍されている方への内部研修を主に企画運営しております。日本の最先端の知見が集まり、目まぐるしくトレンドが変わっていく国の仕事に触れ、一つの物事に求められる深さとスピード感に圧倒される毎日です。ここでの経験を派遣元に持ち帰り、職場の人間や地域の関係者を巻き込みながら既存の訓練・研修を見直し、防災の人づくりに尽力したいと考えております。

（事務局から）

新型コロナウイルス感染症への対応で、業務を計画的に進めにくい時期かと思いますが、災害は待ったなしで発生します。今年度も国と自治体の連携をより一層強め、激甚化する災害へ立ち向かえるよう十分な体制をつくってまいります。

=====

※このメールはシステムが自動発行しておりますので、返信メールは受け付けておりません。

■防災スペシャリスト養成ホームページ

<https://bousai-ariake.jp/>

■登録内容の変更・配信解除

<https://nmg.cao.go.jp/cao021/unsubscribe.php>

■問合せ先

内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(地方・訓練担当)付  
参事官補佐(研修担当)

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1 中央合同庁舎第 8 号館 4F

電話：03-5253-2111（内線：51451）

03-3501-3236（直通）

メールアドレス：hidenori.nagaoka.a3e@cao.go.jp

=====

【チーム有明メールマガジン】

編集・発行：内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(地方・訓練担当)付  
参事官補佐(研修担当)

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1 中央合同庁舎第 8 号館 4F

=====